

## まだまだ使えます

### ●●● 再生品展示販売 ●●●

2月5日から24日まで、伊賀南部リサイクルプラザで再生品展示販売を行いました。



これは、伊賀南部環境衛生組合のリサイクル事業

で、伊賀南部クリーンセンターへ持ち込まれた粗大ごみのうち、破損の少ない木製家具などを修繕し、再生品として入札方式で展示販売するものです。

展示販売は、平成21年から毎年3～4回行って、多い時では年間100点以上を販売しています。

11回目となる今回は、食器棚やたんす、ベッド、パソコンラックなど20点の家具を再生品として展示しました。

入札では、購入希望者はそれぞれの家具に設定されている数百円の最低価格よりも高い価格を入札票に記入し、投函しました。

27日に行われた開札では、家具は再生品とは思えないほど美しく修繕されているため人気があり、次々と落札されました。

今後も有効な資源のリサイクルのため、展示販売を続けていく予定です。



## 日ごろの練習の成果を披露

### ●●● あやま芸能交流会 ●●●

2月5日、あやま文化センターで、あやま芸能交流会を開きました。この交流会は、阿山公民館サークルなどの1年間の練習の成果を発表する場として毎年開催していて、今回は3歳から80歳代まで幅広い年齢の人が参加しました。

交流会では開催に先立って、あやま芸能交流会実行委員会委員長の植田信之さんがあいさつし、「今日一日、ステージで発表する人も、観客の皆さんも、ともに励まし合い、勇気を与え合える場にして欲しい。」と話しました。

その後のオープニングでは、フルーツバスケット Jr と踊乱勢によるダンスが披露され、キッズダンスでは子どもたちが元気いっぱいダンスをしました。



阿山和太鼓保存会あ

## 1年がかりの作品

### ●●● バードカービング ●●●

2月4日、いがまち公民館で、公民館教室の一つ、バードカービングを開催しました。

バードカービングとは、木を削り、色を塗って、野鳥の工芸品を作ることを行います。16回ある教室では名張バードカービングクラブ主宰の坂倉晴彦さんの指導のもと、メジロ2羽とそれを止まらせる柿の枝と実、そして葉を制作します。

今回は、14回目の教室で、艶出しや鳥の色塗りなど、後半の作業にとりかかりました。

まず、艶出しではグロスポリマーと呼ばれる艶を出すための塗料を水で薄め、ちょうどよい艶が出るまで、塗ってドライヤーで乾かす作業を繰り返しました。

また、色塗りの工程では、色の深みを表現するために、薄い絵の具を何度も塗り重ねて色を定着させます。

参加者たちは完成しつつある作品に思いを込めながら、真剣に絵の具を塗り重ねていました。

残る2回の教室で、仕上げ塗りをを行い、細い筆で本物のメジロのよう

に黄色や灰色、ベージュなどの色を加えていき、最後に柿の枝に葉と実、そしてメジロ2羽を取り付け、完成させる予定です。



かまつ太鼓は「子ども太鼓演奏」や「烈風」など3曲を演奏し、会場は力強い太鼓の音色に包まれました。交流会ではこのほかにも、花柳栄美女会による大和楽や舞踊小曲などの日本舞踊、琴美豊会による大正琴など18サークルがステージで発表しました。

また、会場のロビーでは芸術部門としてちぎり絵や墨絵、パッチワークなど9つのサークルの作品を展示しました。



# パネルを通して人権を学ぶ

## 人権パネル展



2月14日から29日まで、いがまち人権センターで人権パネル展を開きました。

パネル展は、さまざまな事業を行っているいがまち人権センターの取り組みをより多くの

人に知ってもらおうと、「部落差別撤廃のための2011年度いがまち人権センター活動パネル」をテーマに行いました。

いがまち人権センターでは乳幼児から高齢者までを対象に段階に応じたさまざまな事業を行い、人権問題と向き合う機会を設けています。

事業の1つであるしらさぎ識字学級では「昼識字」と「夜識字」があり、展示では季節の草花の観察学習会の様子や、受講者の差別に対する思いの言葉をプリントしたTシャツ紹介、そのほかにも「夜識字」ではパソコンで年賀状を作る取り組みが紹介されました。

またこのほかにも子どもの作文や、学校・周辺地域の取り組みをパネルにして展示しました。



いがまち人権センターでは、さまざまなテーマで毎年定期的に人権パネル展を開いています。皆さんもぜひ一度ご覧になってみてはいかがでしょうか。

# 災害に備えて

## 三重大学産学官連携セミナー in 伊賀 メディカルフォーラム in 伊賀

2月9日、ヒルホテル サンピア伊賀で、産学官の連携による地域活性化を目的に、第10回三重大学産学官連携セミナー in 伊賀と、医療・健康・福祉産業の振興を図ることを



を目的に、第11回メディカルフォーラム in 伊賀を併せて開催しました。

催しでは、初めに三重大学医学部附属病院・救命救急センター准教授の武田多一さんが、「災害時の医療と今後の対応～災害時の高齢者医療～」と題して講演しました。

武田さんは、東日本大震災直後に現地に赴き、医療活動にあたった医師の一人です。武田さんは被災地で感じた救助活動を行う際の問題点について説明したあと、災害が起こったとき、支援団体が支援しやすい環境をつくるために、「私たち一人ひとりが、まず身の安全を守り、3日間生き延びて、災害対策本部などに被災状況を把握してもらえるよう情報発信することが大切です。」と話しました。

続いて、三重大学伊賀研究拠点の報告として、三重大学伊賀研究拠点社会連携特任教授の加藤進さんが、平成19年から23年までの伊賀市菜の花プロジェクトのあゆみを紹介し、菜の花プロジェクトを進めてきた中で出てきた問題点などを話しながら今後の方向性について説明しました。

**緑化事業**

空き地の  
**草引き**    **剪定**    **消毒・施肥**

**芝生貼り**    **空き地**  
及び  
**管理**        及び**畦の**  
                  **草刈り**



**お庭のお手入れお任せ下さい!!**

庭木でお困りの事なら樹医にお気軽にご相談下さい。

**元気で美しいお庭づくりを応援します。**  
**お庭のことなら何でもご相談下さい。**

お気軽に  
お電話下さい。☎**0595-21-9823** 見積無料

**INAX 株式会社 INAX 総合サービス**  
上野事業所 伊賀市三田1030番地




**まちかどTopics**

**有料広告を募集します**

広告の募集を行っています。掲載料は1枠(縦5cm×横9cm)2万円です。

掲載を希望する号の発行日2カ月前までに、お申し込みください。

広告に関するお問い合わせは、秘書広報課(☎22・9636)までお願いします。

※掲載の広告について不明な点は直接広告主へお問い合わせください。

